



クラシックギター

山下紅弓

2016年3月26日(土)
午後5時15分～6時30分

曲目： 暁 / ハウス・ハウグ

小川の岸辺による幻想曲 / F. ソル

鳥の歌 / スペイン・カタロニア民謡

シャコンヌ / バッハ

ロシアの思い出 / F. ソル

ゴヤによる24のカプリチオスより第1番 / マリオ・カステルヌオーヴォ・テデスコ

※ ゴヤの24のカプリチオスは、マリオ・カステルヌオーヴォ・テデスコがゴヤの版画にインスピレーションを受け、そのうち24の版画に書かれたものです。

ロシアの思い出は、ソルが自身の曲をパリのオペラ座で上演していたときに、出演していたバレリーナに惚れ込んでしまってロシアまで追いかけて行って、各地で演奏会をし、ロシア皇帝にも謁見した。その思い出から作られた曲です。道中ベルリンにも寄り道したらしいです。



山下紅弓 (やましたこゆみ)

ギタリスト・山下和仁、作曲家・藤家溪子の長女。

2003年11月に東京・浜離宮朝日ホールにて父とのデュオでデビュー。

2004年ローマ国際ギターフェスティバル以来デュオ、四重奏などで活動し、

2007年、デュオ曲集CD「彼女らの美しき生活」を発表。

2010年名古屋にてソロデビュー。家族とともに国内およびイタリア、アメリカ、スペイン、ポルトガル、チェコ、韓国、シンガポール、ヴェトナム等各地で公演。

2014年はハンガリー・バラトン国際ギターフェスティバルおよびイタリア・トリノにて演奏。熊本での演奏活動も行っている。

現在、熊本大学理学部理学科在学中。熊本ギターの会特別会員。

賛助出演：クラシックギター 山下愛陽 (やましたかなひ)

1997年生まれ。幼少より山下和仁ファミリークインテットの一名として

欧米アジア各地で公演。2010年にイタリアで、山下和仁編曲、

ドヴォルザークの交響曲「新世界より」第2楽章を弾いてデビュー。

以後、父娘のデュエットなどを中心に演奏活動を世界各地で行い、

2015年にはエストニア国立交響楽団とも共演。

同年、ベルリン芸術大学に留学。ソリストとしても活躍している。



賛助出演：五弦コントラバス 松本洋一 (まつもとよういち)

オフィス音夢代表 音楽に関するさまざまな活動をしている。コンサート企画、

演奏活動、作編曲、合奏指導、楽器販売・修理、ピアノ調律 etc.

20代、関西にてフリージャズやオリジナル曲の演奏活動を行う。

師匠は、キム・ソング(日本名：金子忠男氏、ゲイリー・ピーコックの弟子)。

現在、「音楽支援センター」の構想や、声と打楽器・民族楽器のアンサンブル“音遊舎”また、五弦のコントラバスを使用しての即興演奏の更なる展開・可能性を追求している。

